

公表所管課長 様

まちづくり推進課長 一井 健二

会 議 要 録

名 称	西予市移住交流促進協議会部会長会	
事 務 局	総務企画部まちづくり推進課地域振興係	
	電 話 0 8 9 4 - 6 2 - 6 4 0 3	
	F A X 0 8 9 4 - 6 2 - 6 5 7 4	
開 催 日 時	令和 2 年 1 月 2 3 日(木) 1 9 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0	
開 催 場 所	西予市教育保健センター 4 階 大会議室	
出席者	委 員	9 名出席 1 名欠席 別紙西予市移住交流促進協議会部長・副部長名簿のとおり
	その他	地域おこし協力隊 山口聡子
	事務局	まちづくり推進課 課長 一井健二 課長補佐 池田いずみ 係長 中井 圭介 地域おこし協力隊 穴井祐介 明浜支所総務課 崎本 周作 城川支所総務課 小田原 誠 三瓶支所総務課 松本 義博
議事内容(要旨)	進行：まちづくり推進課 係長 中井圭介  1 . 開会 会長あいさつ  2 . 協議会アンケート結果について (事務局) アンケート結果から、今後の具体的な進め方をイメージできないような意見が数名いるようである旨報告。	

### 3. 議事

#### (1) 部会について

(事務局) 今後の部会の進め方として、「現状把握」「未来のまちの姿を描く」「ギャップに対する課題の設定」「具体案の企画」の順で進めていくことを説明。

3回目の部会を目安に「成果目標」「結果目標」「行動目標」の設定を行いたい。

(亀井委員) 住まい・空き家対策部会のどのように目標を設定すべきか分からない。

(河野会長) 市で旧町ごとに空き家の件数は空き家バンクの件数など具体的な基礎データがあるか。

(事務局) あります。

(河野会長) 基礎データの提供が必要。空き家活用として、家の廃材の活用も考えられる。

(岡崎委員) 市に空き家バンク的なデータがあるのか。

(事務局) 市の空き家バンク制度を説明。登録申請がないため空き家バンクに登録されていない空き家が多数ある。

(岡崎委員) 情報の共有の仕方の検討が必要ではないか。

(事務局) 協議会の会議録は市HPで掲載している。

(岡崎委員) まだ確かではない情報を一般の人に向けて、情報を出すと混乱を招く可能性もある。市HP以外での新たな情報共有の場も必要。

(河野会長) 協議会の中の情報共有の場ということですか。

(岡崎委員) そうです。

(河野会長) LINEでグループを作るのも一つの案ですね。

(岡崎委員) 特にまちのPR・ブランディングに関する部会は全部の情報と把握していないといけない。

(松本委員) 生業・雇用に関する部会としては、雇用の面で移住者を受け入れる準備をしなければならない。具体的な話はまだできないが、部会で方向性を決めていきたい。

(河野会長) 高校の在り方も検討していかなければならない。地域の産業に近づいた学習など、地域内での産業の在り方などを考えることも重要。

(羽鳥副会長) 部会を運営するにあたって、どこまでの議論をすべきか。ある程度限定すべきか、分からない。例えば、空き家問題について、西予市には空き家対策協議会が別にある。移住者にとっての空き家問題と限定するほうがやりやすいかもしれない。移住と定住は議論を分けた方が

いいかもしれない。4部会である程度共有しておいた方がいい。

(亀井委員)住まい空き家対策部会としては、最初にどんな意見が出るのかを見て方向を決めていきたい。

(岡崎委員)最終的には定住について、議論を進めた方がいい。集落のコミュニティが関わってくることだと思う。移住に対して意識の高い集落をピックアップしてモデルケースとして取り組むといった考えの方が現在の協議会の形としてはいいのではないか。

(白武委員)質問です。住んでいる子どもたちに定住してもらいたいと思うか。

(岡崎委員)今いる子どもたちに定住してもらいたいが、将来のことを考えると負担が大きい。

(河野会長)将来を見通した移住定住施策にしたい。

(山口)部会の前に全体でワークショップを繰り返した方が全員で意識を共有して進むことができるのでは。

(宇都宮委員)子育て・福祉・教育に関する部会として、目標年をどう設定するのかを共有してほしい。部員に好きな意見を出していただきたい。

(宇都宮委員)できれば5年ぐらいの近い将来がイメージしやすい。一般的には何年ぐらい先を見据えますか。

(事務局)10年ぐらいとは考えている。いろいろやり方はある。

(河野会長)最長10年。それに向けて5年後どうなっているかをイメージ。

(岩下委員)まちのPR・ブランディングに関する部会としては、PRのやり方がありすぎるし、誰に対してなのかを絞っていく必要があると思う。まずは状況把握のところが大変だと考えている。

(羽鳥副会長)どういう決め方がいいのか。

(山口)もう少しこの会の中でメンバーがどういう人なのかお互いに知った方がいい。

(羽鳥副会長)最初の目標値をもう少し時間をかけて決めた方がいいと思う。何かのための移住と定めた方がいい。打ち解けた会議をした方がいい。当面は10年先を目指す。定住を目標にしてもいいのでは。

(宇都宮委員)「10年後も定住できる西予市」で考えていった方がいいのでは。今、住んでいる人に対することを考える必要も出てくる。

	<p>(事務局) 部会についての開催時期は適宜部会の進捗に応じて進めていく。部会の事務局は、当面まちづくり推進課で行う。</p> <p>(2) 西予市移住交流促進基本計画・アクションプランの作成について</p> <p>(事務局) 目標年度を令和3年度から令和12年度の計画年度としたい。アクションプランは毎年度見直しする。</p> <p>(河野会長) 空き家対策計画もあるが。</p> <p>(事務局) 関連はしてくると思う。計画間で整合が取れるようにする必要がある。</p> <p>(岡崎委員) 一般の不動産業者との連携などは。</p> <p>(副会長) 実行は既にある委員会などで実行していく体制でいいのでは。</p> <p>(岡崎委員) 空き家だけでなく住まいの選択肢はたくさんある。</p> <p>(3) 全体スケジュールについて</p> <p>(事務局) 令和3年度までのスケジュール案を説明。</p> <p>(河野会長) 2月中にもう一度部会長会を開く。3月中に部会を開く。4月に全体の協議会の開催をお願いしたい。</p> <p>(4) 部会運営について</p> <p>(事務局) ワークショップ形式で楽しみながら進める。各部会ファシリテーターを地域おこし協力隊の山口聡子さん、穴井祐介さん、まちのPR・ブランディングに関する部会の岩下紗矢香さんをお願いする。部会開催に向けては、事前課題を出すこととする。次回の部会長会で課題内容は相談する。</p> <p>(事務局) 次回は令和2年2月20日の午後6時から開催。会議後には懇親会を行います。</p> <p>次回は「最終目標の確認」「課題」について検討を行う。</p> <p>3. 閉会</p>
備 考	